

平成26年度「地域イノベーション戦略推進会議（第1回）」の開催について

1 開催概要

平成24年度に設置し、毎年3回程度開催している、「地域イノベーション戦略推進会議」について、平成26年度の第1回目を開催し、次のテーマで意見・情報交換等を行った。

- ① 産学連携のあり方（長期的に産学の間で資金と成果を循環させるための仕組み）
- ② 「イノベーションリーダー養成塾」（仮称）のあり方
- ③ 「ひろしまイノベーション・ハブ」の形成促進のあり方

○ 日 時：平成26年6月9日（月） 13時30分～15時30分

○ 会 場：県庁北館2階 第1会議室

○ メンバー： (五十音順・敬称略)

分野	所属	職名	氏名
産業	株式会社アスカネット	代表取締役社長 兼 最高経営責任者	福田 幸雄
	カイハラ株式会社	代表取締役社長	貝原 潤司
	コベルコ建機株式会社	代表取締役社長	藤岡 純 [欠席]
	シャープ株式会社	執行役員 電子デバイス事業本部長	江川龍太郎 [欠席]
	マツダ株式会社	代表取締役副会長	金井 誠太
大学	広島大学	学 長	浅原 利正
金融	株式会社広島銀行	代表取締役頭取	池田 晃治
行政	広島県	知 事	湯崎 英彦
ファシリテーター (進行役)	広島経済大学	教 授 キャリアセンター部長	川村 健一

2 主な意見の内容

- 産学連携は、人材等の流動性を高めることで、より密接な関係を築くことができ、よい循環が生まれ、相互に発展できる。
- 産学連携からビジネスを成長させるためには、金融界は資金提供のみではなく、経営・財務に知見を有する人材を提供するべきである。
- 中小企業と大学の連携を進めるためには、中小企業の課題を持ち込むための相談窓口として、ワンストップサービス制度の設置が望まれる。
- 大学が地域企業のニーズを動機付けとするテーマを採用し研究するには、企業は、資金提供や共同研究講座の設置など、長期的な関係構築を図る制度が必要である。
- 次世代リーダーの養成には、異文化や異業種との交流を促進し、地域に密着した経営者の体験から学ぶのがよいのではないかと。
- 次世代リーダーには、知識だけではなく、想定外に対応できる、懐の深い人間が求められる。生き方の哲学を前提とされたい。

3 今後の開催日程

【第2回】平成26年10月（予定）